

1. 収入の増減別にみた支出の変化—収入減には食費・交際費を減らして対応？

2007年と2008年の間で、世帯収入（9月の手取り月収）が増加した世帯・減少した世帯別に、支出がどのように変化したかを調べた。対象とした世帯は、夫婦とその子どもからなる世帯である。今回は収入の2割の増減の世帯までに限定して分析を行っている（増加世帯が204世帯、減少世帯が156世帯）。

収入が増えた世帯では総支出が1.9万円の増加、減少した世帯では1.7万円の減少となっている。収入が増加した世帯では生活基礎支出は3千円の増加、自由裁量支出は1千円の増加となっている。収入が減少した世帯では生活基礎支出が4千円の減少、自由裁量支出は3千円の減少となっている。収入の増減に対して、支出もあわせて増減している。また、こづかいについても、収入が増加した世帯で3千円の増加、減少した世帯で2千円の減少と、収入の増減に連動していることがうかがえる。

細目別にみた場合、食費と交際費の変動が大きい（図表は省略）。食費については、収入が増加した世帯では2.8千円の増加、収入が減少した世帯については1.9千円の減少である。交際費については、収入が増加した世帯ではほぼ変化がないのに対し、収入が減少した世帯では2.9千円減少していた。収入の減少に対しては、食費や交際費を減らすことで対応していることがうかがえる。

図表 1-1 収入の増減と支出の変化

収入が増加した世帯

	(万円)				
	総収入	総支出	生活基礎支出	自由裁量支出	こづかい
2007年	36.4	26.1	11.1	2.7	3.3
2008年	39.5	28.1	11.3	2.9	3.6
変化額	3.1	1.9	0.3	0.1	0.3

収入が減少した世帯

	(万円)				
	総収入	総支出	生活基礎支出	自由裁量支出	こづかい
2007年	41.7	29.1	12.3	2.6	3.7
2008年	38.4	27.8	11.9	2.3	3.4
変化額	-3.3	-1.7	-0.4	-0.3	-0.2

生活基礎支出 食料、家賃・地代・住宅の修繕、電気・ガス・水道、家具・家事用品、保健医療

自由裁量支出 衣類・はき物、教養・娯楽、交際